

新規の受診
入院相談は



地域医療福祉連携室
☎019-684-1151



お気軽に
ご相談
ください。

外来案内

平成 27 年 7 月現在

診療科	◆標榜診療科目 ☆特殊専門外来	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
内科	◆内科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	-	-	-	-	-	-
	◆糖尿病内科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	-	-	-	-	-	-
	◆呼吸器内科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	-	-	-	-	-	-
外科	◆内視鏡内科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	-	-	-	-	-	-
	☆血液外来	午前	-	-	-	-	-	-	-
		午後	●	-	-	-	-	-	-
	◆外科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	●	●	●	●	●	-
婦人科	◆リハビリテーション科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	●	●	●	●	●	●	-
	◆乳腺外科	午前	-	●	●	●	●	●	-
		午後	-	●	●	●	●	●	-
	◆肛門外科	午前	-	●	-	●	●	●	-
		午後	●	-	-	-	●	●	-
	☆漢方外来	午前	-	●	●	-	-	-	-
		午後	-	●	●	-	-	-	-
	☆形成外科外来	午前	●	-	-	-	-	-	-
		午後	-	-	-	-	-	-	-
皮膚科	◆婦人科	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	-	-	-	-	-	-	-
皮膚科	☆更年期外来	午前	●	●	●	●	●	●	-
		午後	-	-	-	-	-	-	-
皮膚科	◆皮膚科	午前	-	-	●	-	●	-	-
		午後	-	-	-	-	-	-	-

診療時間

午前：9:00～12:00
午後：14:00～17:00

受付時間

午前：8:30～11:30
午後：13:00～16:30

休診日

日曜、土曜（第2,3）
祝祭日、お盆
年末年始 12/30～1/3

診療日及び診療時間については都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

- 訪問診療
- 訪問看護
- 訪問リハビリ
- 予防接種
- 健康診断

企業健診・人間ドック
生活習慣病予防健診
各種がん検診等

アクセスマップ



〒020-0668 岩手県滝沢市鶴飼狐洞 1-104

医療法人社団松誠会
滝沢中央病院

盛岡駅より県交通バス、滝沢営業所行（滝沢ニュータウン経由）にて25分、滝沢ニュータウン中央にて下車、徒歩3分。

TEL 019-684-1151

FAX 019-684-2458

HP: www.syouseikai.jp

mail: info@syouseikai.jp

滝沢中央病院 検索



TAKIZAWA CENTRAL HOSPITAL

滝沢中央病院だより

創刊号
vol.1
2015/07



平成28年2月移転予定

標榜診療科

内科・糖尿病内科
呼吸器内科・内視鏡内科
外科・乳腺外科・肛門外科
リハビリテーション科
婦人科・皮膚科

診療時間

月～金 9:00～12:00
14:00～17:00
土※第2,3休 9:00～12:00

※診療科により診療時間・診察日が異なります。詳しくは裏面をご確認ください。

CONTENTS

病院長よりご挨拶

Topics 1
CT 装置が新しくなります

シリーズ
診察室から ～内科～

Topics 2
ジオン療法始めました

地域医療福祉連携室より

病院長よりご挨拶

滝沢中央病院は、昭和53年に開院して以来、地域に密着した医療の実現をめざしてまいりました。その後、医療情勢の変化、患者様の多様なニーズに対応するべく介護老人保健施設、有料老人ホーム等を開設しその中核病院としてまた、地域のニーズに合わせて訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ等の拡充に努めてまいりました。これからも「通院してよかった」「医療相談してもらって助かった」など医療サービスを充実させ、地域の皆様に末永く信頼されていく病院をめざしてまいります。



伊藤浩信
Hironobu Ito

基本理念

よりそう医療・やさしい看護・ささえる福祉

基本方針

～私たちは実践します～

- ◎ 安心・満足できる医療を提供します
- ◎ 地域の皆様の健康を支えます
- ◎ 誠実かつ真心をもって接します
- ◎ 患者様の声に耳をかたむけます

CT装置が新しくなります

東北第一号機 16列CT導入

滝沢中央病院では平成27年7月より最新鋭CT、Toshiba社製 Aquilion Lightning が稼働することとなりました。現在、医療被曝の問題が取りざたされる中、従来のCTと比べ被曝低減可能な装置で高精度検出器により高画質での撮影が可能です。また息止め時間の短縮により患者様に負担の少ない検査装置となっています。マルチスライスCTならではの、輪切り以外の多方向断面像や3D画像による画像診断も可能となります。



患者様に優しい検査環境

検査を行う機械の中はCTで最大クラスの780mmとなっており、閉所恐怖症の方も安心して検査を行うことができます。寝台も470mmと幅が広く安心して検査寝台に寝ていただけます。



緊張している中で、検査をサポートするモニターや視覚的に理解できる息止め指示を行う機能があります。



患者様の医療被曝を最大75%低減することが可能になりました。(被曝低減再構成技術 "AIDR 3D Enhanced" を搭載)

CT撮影でこんな検査もできます！

- ◇体脂肪の計測 (皮下・内臓脂肪計測)
- ◇肺気腫の解析 (COPD/慢性閉塞性肺疾患)
- ◇金属アーチファクトの低減 (体内の金属の影響で従来困難であった画像診断を改善する技術を搭載)

シリーズ 診察室から ~内科~

サルコペニア

高齢化が進む我が国において、サルコペニアが問題となっています。サルコペニアは筋肉 (sarx) が少ない (penia) という意味です。加齢や、栄養不良、廃用症候群などが原因で身体機能が低下して、起こります。筋肉量が減ると、転倒、骨折であったり、生活機能ADLの低下、死亡リスクが高まります。



筋肉は骨と同じように加齢変化があり、30歳頃をピークとして徐々に低下します。しかしその度合いは個人差が大きく、加齢とともにその差は拡大します。この口スを減らすことが重要です。我が国の75歳の約20%がサルコペニアと診断されます。横断歩道を青信号の間に渡り切れなければ要注意です。



副院長
おおかわらますみ
大川原真澄
内科
糖尿病内科
呼吸器内科

予防は食事と運動です。しっかりとエネルギーを摂取します。特にタンパク質を摂ることが重要です。またビタミンDは骨格筋を増強させます。

運動は散歩などの有酸素運動も大事ですが、すこし負荷をかけたレジスタンス運動も必要になります。重要なことは可能な範囲で継続することです。元気であってこそ長生きです。



ジオン療法始めました

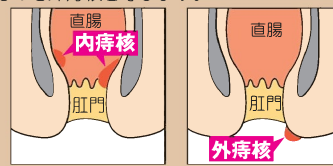
痔門は毎日使う大事なところ。また痛みにも敏感で、ここに不都合が起こると日常生活に支障をきたします。日本人の約3分の1が痔を患っていると言われています。

放置しておくと症状が悪化し、手術も必要となります。痔の症状が現れた場合は、恥ずかしがらずに早期に医師に相談しましょう。

痔の種類

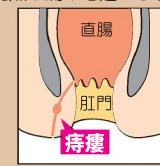
痔核 (いぼ痔)

痔の中でもっとも多いタイプ。直腸肛門部の血管が悪くなり、血管の一部が風船のようにふくれあがり、出血、脱出をおこします。上(直腸)にできたものを内痔核、下(肛門)にできたものを外痔核と呼びます。



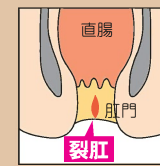
痔瘻 (あな痔)

膿の管が肛門の中から外へとき、入口から細菌が入って化膿し、膿となって出口から出てくる状態。発熱や痛みを起こします。



裂肛 (きれ痔)

硬い便の排出や下痢によって肛門の出口付近が切れ、強い痛みを伴う裂け傷です。強い痛みがあり、血が出ることもあります。



当院で実施している痔の治療

痔の治療に関しては、複数ある治療法の中から患者さまの病態に最適な治療法を選択してお勧めいたします。

上記のように痔には様々なタイプがありますので、まずは一度ご相談下さい。お待ちしております。

- 痔にならないように日常生活で注意すること
- 便秘を整えるため食物繊維の多い食事をする。
 - 水分を十分取り、アルコールは控える。
 - 便器に座っている時間を短くする。
 - 定期的に運動する。
 - 便意をもよおした時、すぐにトイレに行く。

1, 保存的治療 (通常の外来受診)

坐薬や軟膏などの外用薬・緩下剤などの内服薬の服用

2, 外科的治療

薬での治療が難しい場合には手術が必要になります。

▼痔核

局所注射療法 (ジオン注射)

当院では痔核の治療に入院期間が短い注射での治療であるジオン注射を導入しています。従来ですと手術が必要と判断されたケースでも、ジオンを痔核へ直接注射する硬化療法で、手術と同等の効果をえられる症例がある事も証明されております。

結紮切除術

昔からある切る方法です。

▼痔瘻

切開開放術、シートン術など

▼裂肛

側方皮下内肛門括約筋切開術など

ジオン療法



地域医療福祉連携室より

いつも大変お世話になっております。

当院の地域医療福祉連携室では、看護師・医療ソーシャルワーカー・支援相談員・介護支援専門員・医療事務というメンバーで入院・通院・退院に伴う患者様、ご家族様の経済的、心理的な心配事や不安など、ご相談をお受けしております。院内のスタッフはもちろん、他の医療機関や施設と連携を行い、不安や問題を解消していけるようにお手伝いさせていただきます。



地域の皆様が安心して医療や福祉サービスを受けられるよう、些細なことでもご相談いただけるよう体制作りをしていきたいと思ひます。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ致します。